



# 医師会病院だより



## 理念

安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

## 基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重した、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまかな病診連携を行います。
4. 在宅を目指した保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 公益社団法人として益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のセーフティネットを構築し、公益の増進に寄与します。

## 第83号

医療マネジメント学会参加  
健康食レシピ  
第23回医師会まつり  
開催案内

## 日本医療マネジメント学会第11回島根支部学術集会に参加しました 臨床工学室 藤川 ひづる

日本医療マネジメント学会とは・・・

クリニカルパス研究会の活動を基板として、医療マネジメントのノウハウやツールを研究・開発する目的で1999年に設立された学会です。

学会が発足して13年が経過した現在医療の質の向上を求めて以下のような委員会で活動が行なわれています。「広報委員会」「企画委員会」「学会雑誌編集委員会」「保健・医療制度対策委員会」「医療の質検討委員会」「クリティカルパス情報交換委員会」「電子化委員会」「原価計算委員会」「医療安全委員会」「地域医療委員会」「医療資材検討委員会」「個人情報保護委員会」又、学会では各都道府県に支部を設置しており学術集会や研修会を企画運営しています。

はじめに

平成24年9月29日(土曜日)島根県松江市くにびきメッセで日本医療マネジメント学会第11回島根支部学術集会が開催されました。今年度の学会会長は“総合病院松江生協病院院長”高濱顕弘先生でした。(尚、当院の狩野稔久院長は役員として名を連ねています。)

東日本大震災が発生して2年が経過しても復旧、復興とはほど遠い状況におかれている方々を思い、島根県でもどう備え、どう対応することが必要かを考えるきっかけにしたいという高濱学会会長の提案により今回の学会のテーマは「大規模災害時における地域医療連携」でした。

特別講演とランチョンセミナー

特別講演は東日本大震災発生時、災害拠点病院として最前線で診療に当たられた宮城県坂総合病院の今田(こんだ)とお読みします。)隆一先生による「東日本大震災における災害拠点病院としての経験」でした。

東日本大震災発生時の状況と、そのときの病院の対応、行政や消防、保健所、地域住民とのあり

かたの経験をたくさんの写真とともに御自分の苦悩やストレス、心の疲労を交えて講義してくださいました。

今田先生のお話は、島根県や県内各医療機関が大震災に備えるために本当に必要な設備や用意はなにかをご教示いただけるたいへん貴重な内容でした。

ランチョンセミナーは東日本大震災発生後、現地に何度も足を運ばれ心のケアを行なっておられる久留米大学の前田正治先生による「原発事故に立ち向かう～南相馬市・雲雀ヶ丘病院の苦悩」でした。雲雀ヶ丘病院は東京電力福島第一原子力発電所の北24kmに位置

している病院で、原発事故後まもなく全患者が避難するなどして一時休院を余儀なくされた病院だそうです。大震災後2年が経過した今でも病床数254床の病院で60床しか稼動していない状況を雲雀ヶ丘病院の職員面接や管理職の手記、院長の要望書を使用して講演してくださいました。

今田先生、前田先生の講演中は、会場である国際会議場の300有余名の参加者はしっかりとメモを取りながら聞いておられました。参加者の静かな熱意を感じた時間でした。

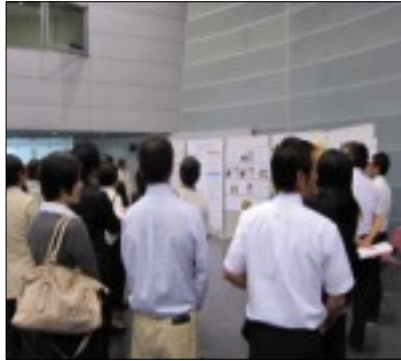
ポスター発表

特別講演が終了したあとは、全員が会場を移動しポスター発表が行なわれました。円形状の会場に入ると、ポスター発表のブースは7つに分けられており、それぞれのブースが同時進行する発表方法でした。



この会場で、今回私は「地域医療と臨床工学技士の連携について～島根県臨床工学技士会会員へのアンケートより～」というテーマでポスター発表を行ってきました。病院に勤務する臨床工学技士の立場から災害発生時になにが出来るのか、どのように考えているのかを県内臨床工学技士に調査し今回の学会で報告すること

で地域医療連携に参加できる第一歩となればと願っての発表です。発表の最後には医師会病院が行なっている「毎回異なるシナリオで作成した防災訓練」「平成24年1月1日から年間最大5日間取得が可能となったボランティア休暇」等の活動も紹介させていただきました。発表後1



人目の質問は当院の狩野稔久院長からの「島根県の臨床工学技士の人数は何人ですか」でした。ありがたいことにこれで、ここまで緊張していたのがうそのようとても心強い応援となりました。（ちなみに平成24年3月31日現在会員数は103人です。

#### 臨床工学技士とは

チーム医療の一員として医療機器の操作と管理をとおして患者さまたちの「いのち」を支えるエンジニアです。

主な業務は「人工心肺」「血液浄化」「手術領域」「集中治療領域」「呼吸治療領域」「心臓カテーテル領域」「ペースメーカー領域」「医療機器管理」等があります。

#### シンポジウム

シンポジウムは行政の立場から「島根県健康福祉部医療政策課地域医療支援グループ」児玉信広先生の「島根県の災害医療体制」についての説明があった後、東日本大震災において現地で活動した経験を救急医の立場から「松江赤十字病院救急部部長」佐藤真也先生

看護師の立場から「松江市立病院2階西病棟副看護師長」

長谷川精一先生

救急救命士の立場から「松江市北消防署消防二課」

松尾洋行先生

訪問看護師の立場から「訪問看護ステーションやすらぎ所長」

加藤典子先生

歯科衛生士の立場から「島根県歯科衛生士会内田歯科医院」

山本佳世先生

がそれぞれ15分から30分の時間で紹介してくださいました。それぞれの先生が現地の状況を多数の写真を使用し説明して下さったため活動をイメージしやすく、理解しやすい内容でした。とくに災害医療に参加したからこそその苦悩や、問題点は今後私たちが災害時に活動するときには活かさなくてはと肝に命じた時間でもありました。

#### 行きかえり

今回の松江への出張はワゴン車に7人が乗り合わせて行きました。職種は事務系総務課・施設課・地域連携室、看護部、臨床工学室と混合チームです。車中では普段は物静かな職員も、他部署の人に囲まれてなにやらずっとお話をしていました。行きが3時間、帰りも3時間の合計6時間だれ1人として居眠りすることなくです。特に帰りの車内では、D-MATのことやら、防災訓練のことやら、情報ネットワークのことやらみんなが思いつくままいろいろな意見が飛び交っていました。

この熱意を忘れずに明日からの業務に生かすことを誓い合って病院玄関前で解散したのでした。（後で聞くと帰宅後みんなぐったりだったそうです。）



# 健康食レシピ ヘルシー酢豚風

中華料理の定番ともいえる酢豚は、豚肉を一度油で揚げため、エネルギーが高くなります。今回は、豚肉を豚ミンチにはんぺんを混ぜたふんわりと軟らかい肉に見立てています。また、揚げずに蒸していますので油を控えることができます。一般的には調味料は醤油、酢を使用しますが、ポン酢しょうゆを代用することもできます。



## 材料4人分

豚ミンチ	80g
はんぺん	120g
ピーマン	80g
玉ねぎ	160g
しいたけ	80g
ごま油	12g
ポン酢しょうゆ	80g
A 砂糖	24g
ケチャップ	28g
片栗粉	12g

## 一人分

エネルギー	178kcal
たんぱく質	9.1g
脂肪	6.4g
塩分	1.6g

### (作り方)

豚ミンチとつぶしたはんぺんを混ぜ合わせ、一口大ぐらいの大きさに丸めます。それを5分程度レンジで蒸しておきます。

ピーマン、玉ねぎは乱切り、しいたけは1/4の大きさに切っておきます。

Aの調味液を合わせておきます。

フライパンにごま油を入れ、を炒め、ある程度火が通ったら と調味液を加えて混ぜ合わせます。最後に水に溶いた片栗粉を流し入れ、とろみを付けて出来上がりです。

# 第23回医師会病院まつり開催のお知らせ

10月14日(日)、第23回医師会まつりを開催致します。今年のテーマは「がん」です。  
無料検査、無料相談、無料体験コーナー、バザー、特設販売コーナーや特設ステージを予定しております。

## 無料検査コーナー

- 動脈硬化測定 (先着 50名)
- 大腸ガン検査 (先着 150名)
- 腹部エコー検査 (先着 60名)
- 眼底カメラ (先着 150名)
- 血液検査 (先着 200名)
- 骨密度測定 (先着 100名)
- 身体測定(身長・体重・肺活量・握力・体脂肪等)

定員になり次第終了となります。

## 無料相談コーナー

- 医療相談
- 皮膚病相談
- 歯科相談(歯科医師会)
- お薬相談(薬剤師会)

## 特設ステージ

進行上、時間が前後する場合があります、また、雨天の場合は中止となります。

- 原浜保育所 9:05 ~ 9:25
  - 遠田保育園 9:35 ~ 9:55
  - さくらんぼ保育所 10:05 ~ 10:15
  - 消防音楽隊 10:25 ~ 11:05
  - 東陽中学校吹奏学部 11:15 ~ 11:55
  - 大ケン玉大会 12:05 ~ 12:45
- けん玉大会は皆さん奮ってご参加下さい、景品を用意しております

## 無料体験コーナー

- 救急処置
- 白衣体験・撮影コーナー

市民公開講座 **入場無料**

演題「**がんに関わるホットなお話**」  
～特に予防と新しい治療医ついて～

場所 第一会議室

時間 13:00 ~

# 益田地域医療センター 医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成24年10月1日より

診療科	診察	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	狩野 稔久	古田 晃一郎	井上 実緒	狩野 稔久	小川 哲生 (6番にて) 古田 晃一郎 (再診のみ)	内科一般
循環器内科	午前				伊藤 新平 (9:00~15:00)		循環器内科
外科	午前	服部 晋司	林 彦多	榎野 好成	和氣 仁美 (11:00まで) 山野井 彰 (胆・肝・脾外科) (11:00~) 五十嵐 雅彦 (再診のみ7番にて)	五十嵐 雅彦	消化器外科・呼吸器外科 小児外科・肛門科 一般外科
肛門外科	午前				服部 晋司 林 彦多		第1・3・5木曜日 服部医師 第2・4木曜日 林医師
整形外科	午前	交互診療	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	大中 博司	大中 博司	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	整形外科一般
麻酔科	午前		島大麻酔科			島大麻酔科	交互診療 (島根大学麻酔科教授月1回不定期診療)
川比 斥之介科	午前	新垣 美佐	柿木 伸之	新垣 美佐	中島 暁美 (9:30~12:00)	柿木 伸之	川比 斥之介科全般
リウマチ科 (電話予約制)		近藤 正宏 角田 佳子 (9:00~15:00)					膠原病専門外来 近藤・角田の交互診療 電話による完全予約制
呼吸器外科	午前		岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・4火曜日 呼吸器疾患全般 二次健診後のフォロー
循環器外科	午前			末廣 章一			第1水曜日 (心臓・血管外科)
特殊外来	脳神経領域	午前		山崎 達輔			
	頭痛外来	午前		石崎 公郁子			完全予約制
	放射線治療	午前				玉置 幸久 猪俣 泰典(教授)	第4金曜日 玉置・猪俣の交互診療
	乳腺外来	午後		榎野 好成			14:00~16:00
	緩和ケア	午前				五十嵐 雅彦 服部 晋司	第1・3・5木曜日
	がん相談支援センター	午前					田島 義証 (島大消化器総合外科教授)

初診受付 午前8時30分~11時00分 再診受付 午前8時30分~11時30分

但し、急患の場合はこの限りではありません。

## 緩和ケア外来のお知らせ

「がん」と診断された患者さんは、手術や化学療法など「がん」そのものの治療だけでなく、「がん」に伴うつらさ(痛みなどのつらい症状、こころの問題、療養上の気がり)を解決する事も大切です。そこで当院では患者さんやご家族のサポートをするために緩和ケア外来を行っています。

外来日：木曜日(第1・3・5週目)

担当医：五十嵐雅彦・服部晋司

事前の予約が必要です。

ご予約・ご相談、問い合わせ先 がん相談支援センター 担当：二宮 隆史

発行：益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL：0856-22-3611(代表) FAX：0856-22-0407

E-mail：info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL：http://hp.masuda-med.or.jp/